

A I ボイス 人車分離

【取扱説明書】

安全上の注意事項

本製品を設置、ご使用になる前にこの注意事項をよくお読みになり、正しく設置、使用してください。誤った設置、使用をした場合、死亡事故や重大事故につながる可能性がある内容を表示しています。これらの警告は安全上重要な内容ですので必ずお守り下さい。また、本書はなくさないように注意し、いつでも確認ができる場所に保管しておいて下さい。

⚠ 警 告

- ⊘ 本製品は、任意に設定した検知エリアに歩行者を検知すると、モニター上とLED、音声スピーカーで警報するための装置になります。
目的外のご利用はしないで下さい。
- ❗ 電源の入力は本書に定められた入力方法で行って下さい。（ $\pm$ C/DC）
誤った入力をする、感電する恐れや本製品の故障の原因となります。
- ❗ 設置する際は、出来るだけ平たんな場所に三脚の脚をしっかりと開き、土のうなどで転倒防止をして下さい。
- ⊘ 傾斜地への設置はしないで下さい。本製品の転倒により人に怪我をさせる恐れがあります。また、本製品の故障の原因となります。
- ⊘ 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理、改造を行わないで下さい。
発火したり、異常動作を起こす恐れがあり、事故の原因となります。
- ⊘ 本製品の配線に対し、他製品を割り込ませる結線などは絶対にしないで下さい。正常に作動しなくなる原因となります。
- ❗ 本製品は、歩行者を検知しモニター上とブザー、音声スピーカーで警報する装置です。事故防止を保証するものではありません。また、100%の認識率を保証することは出来ません。重大な事故を起こさないよう、日頃から安全対策マニュアルを作成し、安全対策の徹底をお願いします。

お願い

- 毎日使用前に、必ず本製品が正常に動作するか確認を行って下さい。
- 何らかの不具合、動作不良があった場合は、すぐに本製品の使用は中止し、速やかに取付け業者または販売店までご連絡下さい。



前 面

背 面

※モバイルバッテリーは別途オプションになります。



モニターボックス内部



配線ボックス内部

使用上の注意

- ◎本製品は I P 6 5 相当の屋外仕様となります。製品本来の防水・防塵機能を確保するため、設置、設定後はモニターおよび配線ボックスの蓋はきちんと閉めて使用して下さい。

設置作業をするにあたり

- ◎設置作業は電源を抜いた状態で行って下さい。
- ◎設置場所は、傾斜地を避け、平たんな場所に三脚の脚をしっかりと広げて設置し、転倒防止措置を講じて下さい。

【使用方法】 A C 100 V 使用の場合

- ①上記を参考に本製品を設置する。
- ②モニターボックスの蓋を開ける。
- ③本体裏側の配線ボックスからコンセントがついた線を出し、AC100Vのコンセントへ差し込む。
- ④モニターの電源を入れる。
モニター左下側の赤色の電源マークをタッチすると、電源が入り緑色になります。
- ⑤電源が入ったことを確認し、検知エリアに入り、L E D 警告灯と音声報知器が作動することを確認する。
※初期設定では、検知エリアを線状に設定しています。設定方法は後述します。
- ⑥モニターを見ながら、本製品を検知したい方向に合わせて下さい。
- ⑦稼働中はモニターボックスの蓋を閉めて下さい。

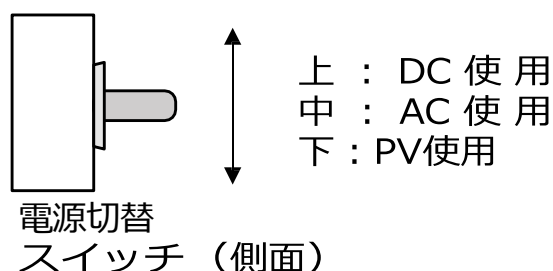
終了するときは、モニターの電源を切り、コンセントを抜いて下さい。電源が切れたことを確認し、モニターボックスの蓋を閉め、配線を収納して下さい。

注意・確認事項

AC電源を使用する場合は、電源切替用スイッチを真ん中の位置にして下さい。



配線ボックス



※DC電源（モバイルバッテリー）とPV電源（ソーラー）はオプションとなります。

【使用方法】DC電源使用の場合

- ①前頁を参考に本製品を設置する。
- ②モニターボックスの蓋を開ける。
- ③本体裏側の配線ボックスからDC用の線を出し、電源切替スイッチをDC用にする。
(切替スイッチ上側)
- ④DC用の線をオプションのモバイルバッテリーまたは、お手持ちのバッテリー等へ接続する。(DC電源の許容範囲 12V～24V以内かつ出力 1A以上)
- ⑤モニターの電源を入れる。
モニター左下側の赤色の電源マークをタッチすると、電源が入り緑色になります。
- ⑥電源が入ったことを確認し、検知エリアに入り、LED警告灯と音声報知器が作動することを確認する。
※初期設定では、検知エリアを線状に設定しています。設定方法は後述します。
- ⑦モニターを見ながら、本製品を検知したい方向に合わせて下さい。
- ⑧稼働中はモニターボックスの蓋を閉めて下さい。

終了するときは、モニターの電源を切り、DC用コンセントを抜いて下さい。電源が切れたことを確認し、モニターボックスの蓋を閉め、配線を収納して下さい。

【使用方法】PV電源使用の場合

- ①前頁を参考に本製品およびソーラーパネルを設置する。
- ②モニターボックスの蓋を開ける。
- ③本体裏側の配線ボックスからPV用の線を出し、電源切替スイッチをPV用にする。
(切替スイッチ下側)
- ④モニターの電源を入れる。
以降は上記⑤～と同様です。

【音量設定】

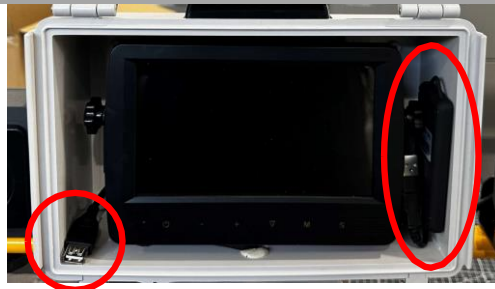


- ①音声報知器全体をしっかりと押さえ、上蓋を回転させます。
- ②右下に調整用ダイヤルがあるので、+ドライバーで調整して下さい。

初期設定はMAXになっています。

【検知エリアの設定方法】

Wi-Fiモジュール
接続口(USB)



Wi-Fiモジュール

左図：モニターボックス内

スマートフォンまたはタブレットPCで設定を行います。

- ①モニターボックス内に同包されているWi-Fiジュールを（USB）接続します。
- ②スマートフォン等のWi-Fi設定から「ADAS-*****」を選択しAIカメラに接続します。 « 初期パスワード「88888888」 »
- ③スマートフォン等のブラウザアプリで、
URL [<http://192.168.60.1>] を入力して下さい。
または、下のQRコードを読み込んで下さい。



- ④③のページにアクセスすると下記ページが開きます。

ユーザー [admin] 初期入力済み
パスワード [] 空欄のまま

そのままログインして下さい。

※注意 左図のようなメッセージが出た場合は、「Wi-Fiの使用を続ける」を選択して下さい。「モバイルデータ通信を使用」を選択するとカメラとの接続が切れてしまいます。

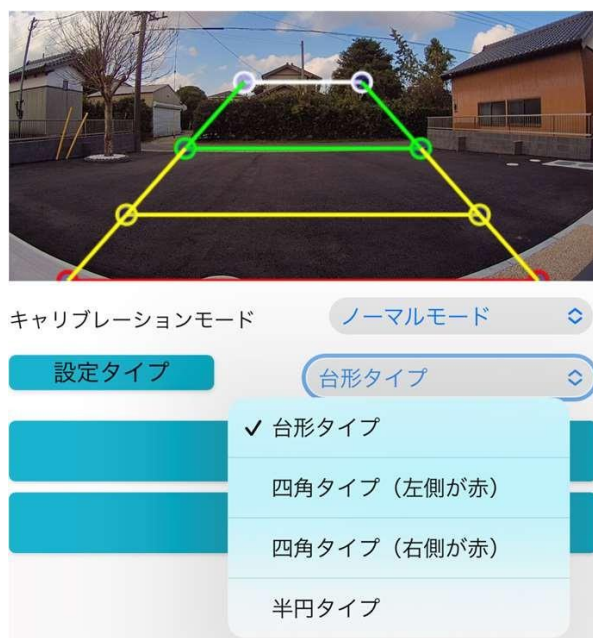
⑤言語を選択します。



⑥検知エリアの設定をします。下の赤枠のマークを押して下さい。



⑦検知エリアのタイプを選択します。※ここでは、台形タイプを選択し説明します。



⑧検知エリアタイプを選択後、下図のような画面になります。

○印をドラッグすることにより検知エリアを任意の形へ変形することが出来ます。
検知エリアの設定が完了したら、決定ボタンを押して下さい。



○印をドラッグすることにより
任意の形に変更することが可能です。

設定完了後は決定を押す。

⑨決定ボタンを押すと、下図のように変更された検知エリアとなります。



検知エリア距離について

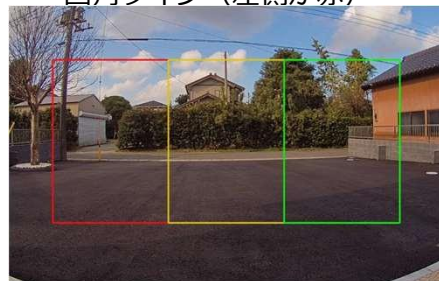
最 小 0.5m
最 大 2.0m

最大検知角度 140°

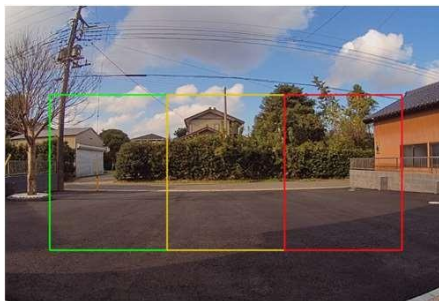
※注) 検知角度を最大にすると、
検知距離は最大12mとなります。

<参考>

四角タイプ (左側が赤)



四角タイプ (右側が赤)



半円タイプ



⑩モニター画面の見え方について設定します。設定ボタンを押して下さい。



⑪画面処理で「左右反転」や「上下反転」を必要に応じて設定します。



変更したい場合、☒を付けてください。

(注意)

☒を入れただけでは反映されません。

必ず、画面下の「決定」ボタンを押して下さい。

⑫検知エリアの表示設定について

モニター上で検知エリアを「隠す」「線分」「充填」の3種類から選択することが出来ます。

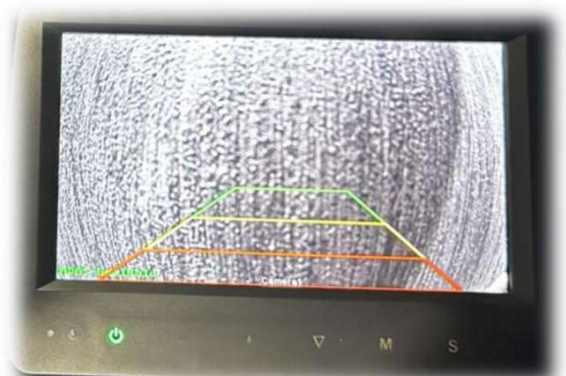


設定からアルゴリズムを選択

下方の「検知エリアの表示方法」から「隠れる」「線分」「充填」を選択して下さい。
変更後は必ず、「決定」を押すこと。



「隠れる」何も表示されません。



「線分」検知エリアの枠線表示



「充填」検知エリアが半透明に色付けされる。

以上でカメラの設定は終わりです。設定が終わりましたらWi-Fiモジュールは外して本説明書と一緒に保管して下さい。

注) 本書説明以外の設定項目は変更しないようにお願いします。

本製品が正常に作動しなくなる場合があります。

【音声内容について】

A I カメラで人を検知した時に発報する音声内容について、受注時にお打合せさせていただいた内容で設定しています。

音声内容を変更したい場合は、販売店または弊社までご相談下さい。

なお、再セットアップが必要な場合は、別途費用が発生する場合があります。

【A I ボイス 人車分離 保証書】

この度は本製品をご購入、取付けいただき誠にありがとうございます。

保証期間内に正常な取付け、使用状態において不具合が発生した場合は、本書記載内容に基づき保証させていただきます。本書をお持ちのうえ、販売店または弊社までご連絡ください。

お 客 様 名	
ご 住 所	
電 話 番 号	()
納 品 日	年 月 日
保 証 期 間	納品日より1年間
作業内容特記事項	QRC-AI BOX
取 付 け 業 者 名	
販 売 店	

【 保 証 規 定 】

保証期間内に正常な取付け、使用状態において不具合が発生した場合は、本書記載内容に基づき保証させていただきます。保証期間内に故障や不具合が発生した場合は本書をお持ちのうえ、販売店または弊社までご連絡下さい。

1. 保証期間

保証期間は上記保証書記載のとおりとします。

2. 保証内容

保証期間内に販売店または弊社にて取り付けた製品の不具合により故障が発生した場合、部品代及び工賃を弊社において負担いたします。

3. 適用除外

保証期間内でも次の場合は保証の対象となりません。

- ①お客様自身で他店等に修理に出され請求された費用
- ②故障により本製品をご使用できなかったことによる損失
(警備等費用、代替品購入費、休業補償、営業損失等)
- ③故障箇所を分解した場合、または分解した形跡のある場合
- ④火災、地震等の天災地変による故障や損傷
- ⑤故障原因がお客様側にある場合
- ⑥お客様支給の部品を使用した場合

株式会社文化放送開発センター

〒105-8002

東京都港区浜松町1-31 文化放送メディアプラス5F

TEL : 03-5403-2622 / FAX : 03-5403-2645

2022/12